

## ネット検索の落とし穴：ニュースの信憑性を確かめようと、ネットで情報検索すると、かえってそのニュースを正しいと信じてしまう

スマートフォンが身近になり、ニュースを知るのは新聞やテレビではなく、インターネットからという方も多いのではないのでしょうか？インターネットでの情報検索は手軽ではあるものの、「その情報は本当に正しいのか？」と情報の真偽を自分で見極める力が重要となっています。今回はインターネット検索の思わぬ落とし穴について実験を行った研究をご紹介します。

### ● インターネット検索はウソの情報をホントだと信じてしまいやすい

実験参加者（3006名）に虚偽のニュース記事を読んでもらい、その真偽を判断してもらいました。インターネットで検索を行なった人は、検索していない人と比べて、間違った情報を正しいと判断する確率が19%も上昇してしまいました。

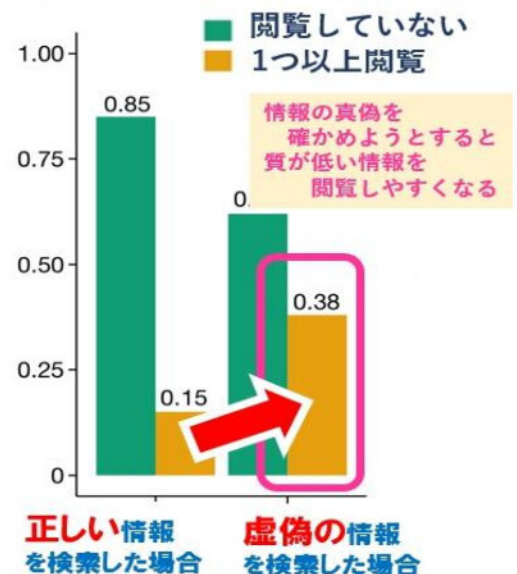


（同様の試験を5回実施したところ、全て同じ結果）

### ● 誤解の原因は情報の質

虚偽の情報をホントだと信じてしまった人は情報源が曖昧、第三者のチェックがないなどの「質の低い情報」を読んでいます。正しい情報について検索した場合でも15%、嘘のニュースの場合は38%の人が質の低い情報を読んではしまいます(右図)。怪しい情報について調べると、質が担保されていない情報源にたどり着いてしまう確率が高く、その結果、虚偽の情報を正しいと思い込んでしまう、という悪循環が起きます。※（注）質の低い＝誤りとは限りません

質が低い情報を閲覧した数



### ● 情報社会では「メディアリテラシー」が重要

『正しい情報を知ることは、健康になるために必要な力です』インターネットで調べ物をする上、上位にあるサイトを読んではしまいがちですが、上位にある＝正しいではありません。たくさんの情報に触れる現代だからこそ、私たちは情報源の信頼性を見極める力(メディアリテラシー)が必要です。スイッチオンサービスは、皆さまの健康に有益な情報をお届けします！

参考：Aslett, K., Sanderson, Z., Godel, W. et al. Online searches to evaluate misinformation can increase its perceived veracity. Nature 625, 548–556 (2024)

